

平成25年度「地域力創造のための起業者定住促進モデル事業」対象市町村の取組概要

No.	対象市町村名	人口(人) (H22 国調)	外部専門家 (敬称略)	取組概要
1	ピラトリチョウ 平取町 (北海道)	5,596	ナカシマ ジュン 中島 淳 (株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役)	<b>地域の新たな豊かさ発見・創出事業</b> 日高山脈を背景とした自然環境、アイヌ文化を生かしたエコ・カルチュラル・ツーリズムのモニターツアーを通じた観光商品の開発、トマト、和牛肉をはじめとする農産物等の6次産業化及び新規就農支援などの制度を組み合わせ、Uターン者の定住定着・起業を見据えた支援体制の強化に取り組む。
2	ミヤツシ 宮津市 (京都府)	19,948	コジマ ケイゾウ 小島 慶藏 (伊藤忠商事株式会社 福井事務所 所長)	<b>未利用・廃資源活用型による宮津の元気づくりプロジェクト</b> 地域資源である「ナマコ」の生産拡大及び海外販路の開拓により、ナマコの地域ブランド化を目指す。また、放置竹林を有効活用したビジネスモデルの構築、販路拡大、担い手育成に取り組む。過疎地域における新たな産業創出を推進し、起業・定住に向けた環境整備を目指す。
3	ヤマグチン 山口市 (山口県)	196,628	ユウフ ノブオ 養父 信夫 (株式会社マインドシェア 九州のムラへ行こう 編集長)	<b>山口維新！3本目の矢「長州援農隊」</b> 地域資源の高付加価値化(6次産業化など)により農林業や観光業を中心に地域の所得を高める取組みや、ビジネス化・就業(農)の可能性が高い地域資源・受入組織(農事組合法人、公社など)を整理する。意欲と能力のある都市部人材とマッチングすることで、移住希望者の継続的な受入・定住化を目指す。
4	アキシ 安芸市 (高知県)	19,547	トチオ ケイスケ 朽尾 圭亮 (株式会社船井総合研究所)	<b>観光による産業振興事業(じゃこによるブランド構築事業)</b> 県内屈指の水揚量を誇るシラス(じゃこ)について、「ご当地じゃこサミット」と題したイベントを開催し、グルメ品目の開発、じゃこの聖地としての地域ブランドの確立、地域ブランドの全国発信に取り組む。あわせて、担い手の育成を行うことにより、地域活性化及び起業に向けた気運醸成を目指す。
5	イキシ 壱岐市 (長崎県)	29,377	サカモト ヒデシ 坂元 英俊 (株式会社マインドシェア 観光地域づくりプロデューサー)	<b>チーム・地域おこし協力隊による観光×「第一次産業」活性化プロジェクト始動</b> 地域資源を活用した滞在型観光商品の開発、「海女」を素材とした海業の情報発信、古代・雑穀米のブランド化支援等による市内の観光・物産産業の活性化、後継者獲得を目指す。また、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等着地型観光の推進により観光産業分野での雇用創出・定住促進に取り組む。
6	ミナミオグニマチ 南小国町 (熊本県)	4,429	イデ オサム 井手 修身 (アイデアパートナーズ株式会社 代表取締役)	<b>日本で最も美しい村「きよらの郷」づくり実現事業</b> 「日本で最も美しい村」を体験する観光プログラムの商品化、モニターツアーの実施、特産品開発、「集落コンテスト」の実施やWEB、SNSを活用した情報発信に取り組む。地域の魅力を高めるとともに域内循環型コミュニティ・ビジネスの創出による定住促進を目指す。
7	コバヤシ 小林市 (宮崎県)	48,270	コバヤシ ショウコ 小林 詳子 (全日本空輸株式会社(休職中))	<b>地域ブランド確立による定住促進事業～地域資源「チョウザメ」を活用した6次産業化と起業・ビジネス化～</b> 「チョウザメ」を活用したご当地グルメや栄養補助食品などの商品開発やPR・販売活動、担い手の育成などに取り組むことにより、地域ブランド化をすすめる。起業・ビジネス化、6次産業化により雇用を創出し、移住・定住人口の拡大及び地域住民や関係団体間の協働体制を構築し、持続的な地域活性化を目指す。